

科目区分	専門基礎分野	授業科目	人体形態機能学Ⅱ
講師	医師	実務経験の有無	有
単位数(時間)	1単位(30時間)	開講年次・学期	1年次 第1学期
授業概要*講師からのメッセージ	看護実践に必要なひとの人体の構造と機能を学び、日常生活行動の援助を考えられるようになってほしいです。		
目的：看護実践に必要な人体の構造と機能を理解できる。 目標：1. ひとの呼吸のしくみと働きを理解できる。 2. ひとの心臓のしくみと働きを理解できる。 3. ひとの排尿のしくみと働きを理解できる。			
回	授業内容		
1	<b>呼吸器</b> 1. 呼吸の構造		
2	1) 肺の構造 2) 気道のクリアランス 3) 気管・気管支の構造 4) 縦隔の構造		
3	5) 肺と胸郭・胸腔・胸膜の関係 6) 横隔膜		
4	2. 呼吸の整理 1) 内呼吸と外呼吸 2) 呼吸システム 3) 呼吸調節 4) 換気運動		
5	5) ガス交換 6) 酸塩基平衡		
6 (45分)	終了試験		
7	<b>循環器</b> 1. 心臓の構造と機能 1) 心臓の構造 2) 刺激伝導系と心臓の電気活動		
8	3) 心臓のポンプ作用 4) 心臓機能の適応性		
9	2. 血管の構造と機能		
10	1) 動脈および静脈の構造 2) 体循環と肺循環 3) 血液の循環力学		
11	3. リンパ系とリンパ管の構造と機能 1) リンパ管 2) リンパ節 3) リンパ組織 4. 循環の調節 1) 自律神経系による調節 2) 液性因子による調整		
12 (45分)	終了試験		
13	<b>腎臓</b> 1. 腎臓の構造と機能 1) 腎臓の位置・構造		
14	2) 腎臓の機能 (1) 糸球体と尿細管の機能		
15	(2) 体液の量と組成の維持 (3) 内分泌臓器としての機能		
16	<b>泌尿器</b> 1. 尿管・膀胱の構造と機能 1) 尿管の構造 2) 膀胱の構造 3) 膀胱の機能 4) 尿意 2. 尿道の構造と機能 1) 尿道の構造 2) 排尿		
17 (45分)	終了試験		
授業方法	講義		
評価方法	筆記試験(100%) 評価基準参照		
教科書	医学書院：系統看護学講座 専門基礎分野 人体の構造と機能[1] 解剖生理学 医学書院：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[2] 呼吸器 医学書院：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[3] 循環器 医学書院：系統看護学講座 専門分野 成人看護学[8] 腎・泌尿器		
参考書			
備考			